

自然のくすり箱

～薬草とわたしたちの暮らし～

薬草の歴史・民俗的な背景や植物がもつ薬としての有効性を紐解くとともに、当館が蓄積してきた「岐阜県植物誌」調査のデータをもとに、県内各地の薬草の分布とその活用方法を紹介します。

私たちの身近には意外に多くの薬草が存在していることや、薬草の宝庫である岐阜の自然のすばらしさを再認識していただく機会になれば幸いです。

1 病と薬の歴史

- 一般民衆の病氣救済のために出版された「救民妙薬」
- 信長が伊吹山につくらせたとされる薬草園の記述がある「南蛮寺興廃記」
- 大垣の蘭方医・植物学者である飯沼慾斎が残した「草木図説」(県重要文化財)

2 薬草を科学する

- 自ら動くことができない植物がもつ自己防衛システム
- 植物がもつ毒と薬の関係
- 身のまわりで見られる薬になる植物

3 自然の力で健やかに

- 免疫力を高める和食・薬膳
- 身近な植物から得られる薬用成分・薬用エキス
- 自然の力を私たちの暮らしに生かす

関連事業
*は事前申し込みが必要となります。
(詳細は岐阜県博物館へお問い合わせください。)

- 1 現地観察会「薬草園のプロから学ぶ薬用植物」* 9/27(日) 10:00~12:00(定員:40名)
講師:亀谷 芳明(内藤記念くすり博物館附属薬用植物園・課長代理) 【於:内藤記念くすり博物館附属薬用植物園】
- 2 特別展講演会「身近な薬草こそが良薬」* 10/4(日) 13:30~15:00(定員:120名)
講師:御影 雅幸(東京農業大学・教授)
- 3 特別展講演会「伝統医療を科学する ～漢方・アロマテラピーを中心に～」* 11/3(火・祝) 13:30~15:00(定員:120名)
講師:伊藤 謙(京都薬科大学・助教)
- 4 「体によい my お屠蘇(とそ)をつくろう」* 12/23(水・祝) 13:30~15:00(定員:30名)
- 5 「学芸員によるギャラリートーク」 9/13(日)・10/18(日)・11/1(日)・15(日) 10:30~11:00 13:30~14:00



- 東海北陸自動車道 関インターから車5分
- 岐阜バス (小屋名バス停下車徒歩20分)
※岐阜駅方面からは、岐阜バスターミナル又はJR岐阜駅14番乗り場でご乗車ください (岐阜開線、岐阜美濃線)
※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください (岐阜開線)
- 岐阜バス・名鉄バス (赤土坂バス停下車徒歩25分)
※名古屋駅方面からは、名鉄バスセンターでご乗車ください (高速名古屋線)

お車でのご越しの方は岐阜県百年公園北口駐車場をご利用ください。

平成27年4月1日より 駐車料金無料!

北口から博物館まで300mです。歩行が困難な方は博物館入口までお車の乗り入れができますので、お問い合わせください。

GIFU PREFECTURAL MUSEUM
岐阜県博物館
〒501-3941 岐阜県関市小屋名1989(岐阜県百年公園内)
電話 0575-28-3111代 FAX 0575-28-3110
<http://www.gifu-kenpaku.jp>